

事前評価個表

整理番号	79
------	----

地域（地区）名	<small>おんがかわ</small> 遠賀川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	福岡県	対象市町村	北九州市ほか17市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>遠賀川計画地は、県の中央部から北東部に位置し、英彦山に源を發する遠賀川が計画地のほぼ中央部を貫流して遠賀平野などを形成し、響灘に注いでいる。</p> <p>本計画区の総面積は、214,750ha、県土面積の43%にあたる。森林面積は106,378ha（森林率50%）であり、内訳としては国有林13,030ha、民有林93,949haで県内計画区の中では最も大きい面積となっている。また、計画区内の林道延長は497km、林道密度は5.4m / haとなっており、このほかに林道等の支線としての作業道が整備されている。</p> <p>民有林のうち、人工林の面積は54,432haで人工林率は59%となっている。人工林率が県の平均より低い状況であり、その蓄積は、ha当たり200m³と県計画区域内で最も低い区域であるが、年齢別の人工林面積は、10年齢級がピークを占め、資源量は年々増加し、収穫可能な段階を迎えているため、高齢級の森林を含めた間伐等の森林整備の推進は最も重要な課題となっている。</p> <p>このため、遠賀川流域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び森林作業道の整備を推進する必要がある。</p> <p>本計画に基づき、森林組合・市町村を事業主体の中心として、必要な森林の整備を行い、持続可能な森林経営の推進を図ることで、木材生産だけでなく、水源かん養等の多面的機能の持続的な発揮に繋げる。</p> <p>なお、農耕地の多くが森林に接近していることから、農林業の振興、農林道の整備において関係部局との連携を図っている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,921ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,243,320千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.61 (総便益(B) = 13,258,291千円、総費用(C) = 3,669,891千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の状況及び、森林の蓄積状況をみて必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：優良材の安定的生産のための適切な森林作業道が整備されること、計画的な森林整備による水源かん養、国土保全等の機能が確保されることにより有効である。</p> <p>森林の公益的機能は、一度喪失すると回復に長い期間と膨大な費用・労力を必要とすることから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。</p> <p>本計画は、森林の公益的機能と木材生産の向上を図る適切な森林整備であり、効率性・有効性が認められている。</p> <p>このため、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

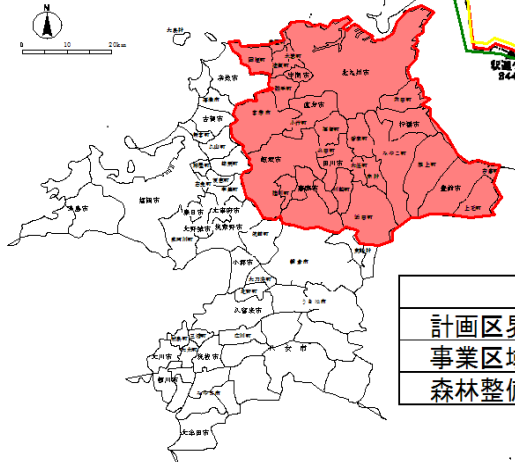
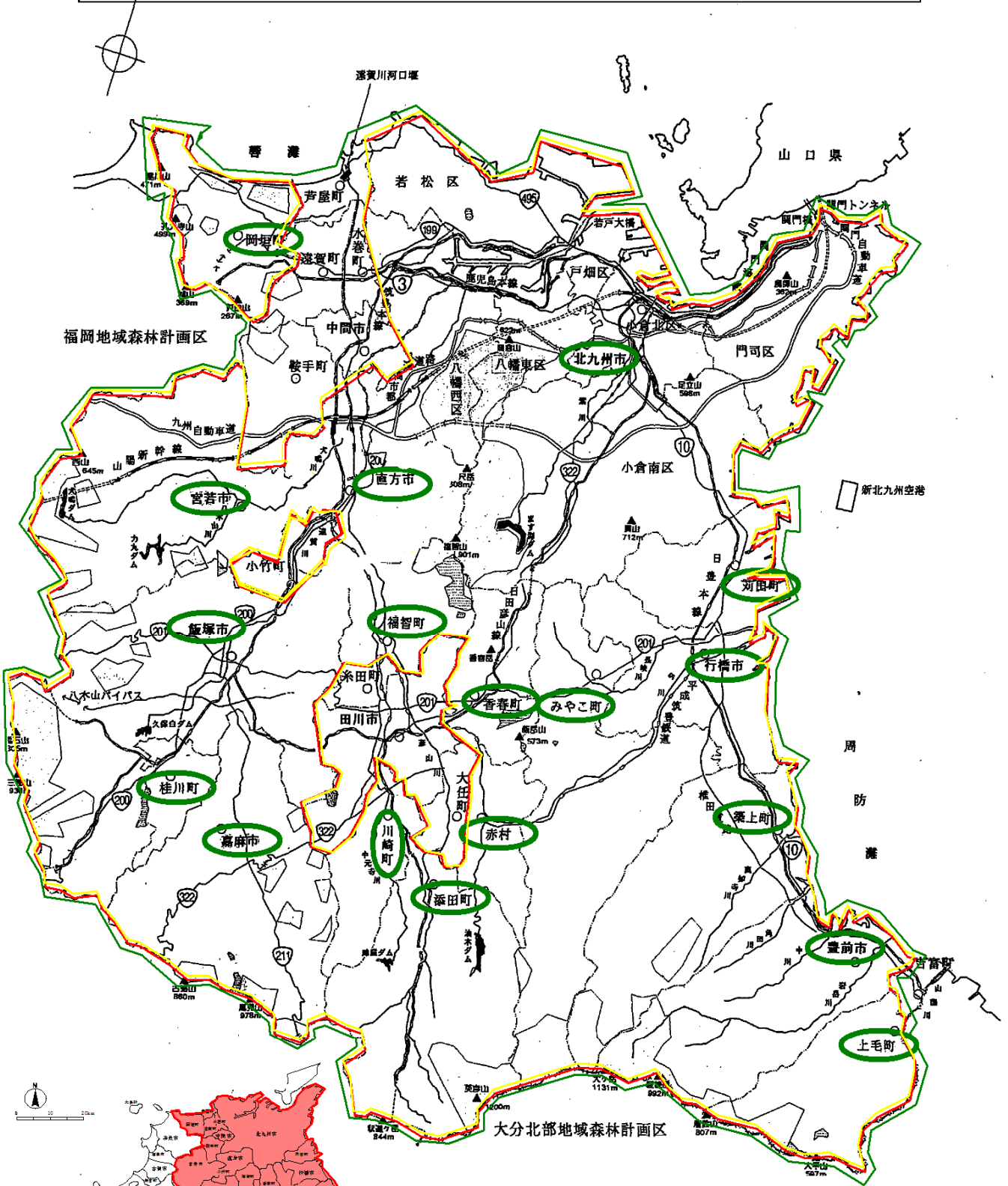
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 遠賀川

福岡県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	4,669,620	
	流域貯水便益	1,177,943	
	水質浄化便益	2,010,974	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,790,221	
	土砂崩壊防止便益	74,105	
環境保全便益	炭素固定便益	753,767	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,781,661	
総 便 益 (B)		13,258,291	
総 費 用 (C)		3,669,891	
費用便益比	$B \div C = \frac{13,258,291}{3,669,891} = 3.61$		

森林環境保全整備事業 遠賀川地域（福岡県）概要図



凡例	
計画区界	——
事業区域	——
森林整備	——